

予報期間 9月19日から9月25日まで

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- 台風になる見込みの熱帯低気圧については、最新の台風予報を参照。
- 21日から22日は、低気圧が北日本付近から千島近海へ進む。
- 22日から23日は、高気圧が中国東北区から北日本付近へ移動する。
- 24日から25日は、高気圧が日本の東へ移動する。気圧の谷が朝鮮半島付近から北日本付近へ進む。

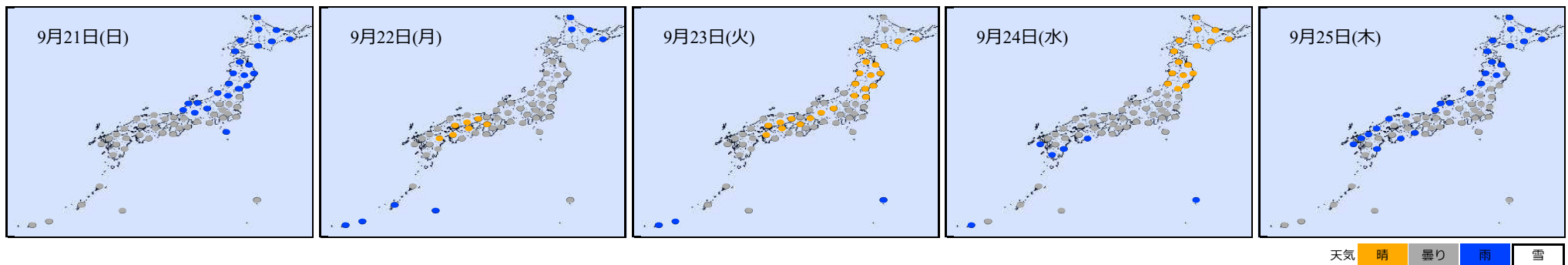
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 21日にかけては、北日本を中心に、低気圧の発達程度等によっては警報級の大雨や大荒れ、大しけとなるおそれがある。
- 22日から23日頃は、沖縄地方では、台風になる見込みの熱帯低気圧の動向によっては、大しけとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

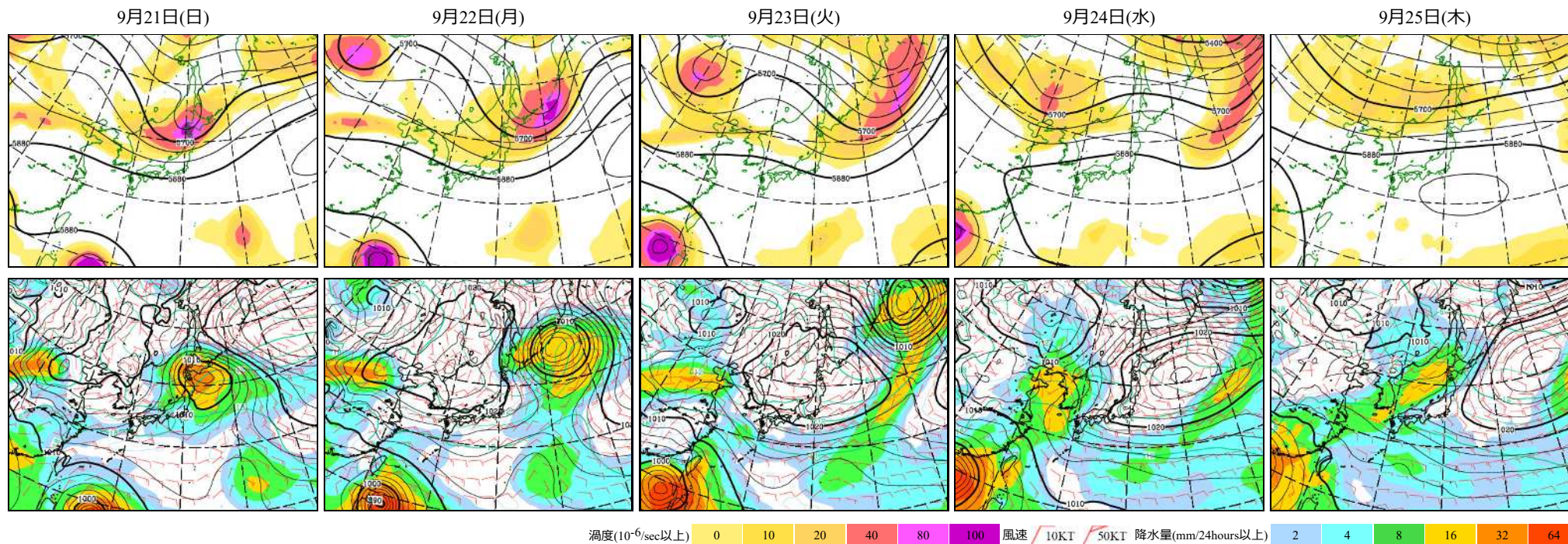
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

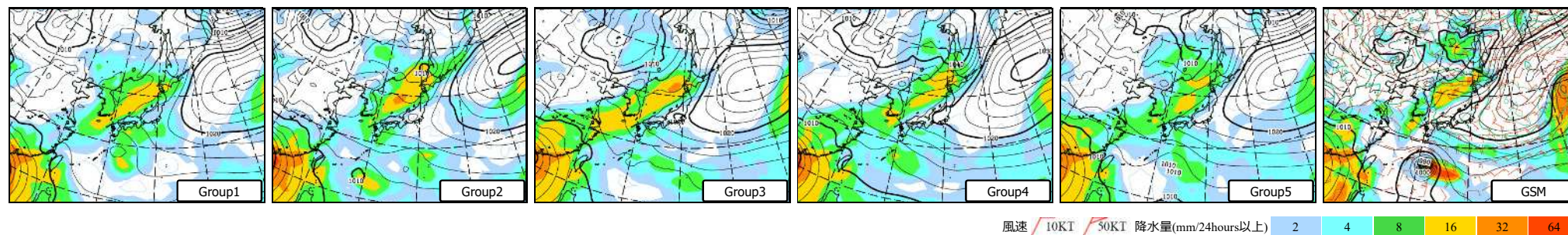


- 北日本は、21日から22日と25日は曇りや雨の降る所が多い。23日から24日は、晴れまたは曇りとなる。
- 東日本は、雲が広がりやすく、21日と25日は雨の降る所がある。
- 西日本は、曇りまたは晴れの日が多いが、24日と25日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆9月25日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、21日に北日本付近へ進む低気圧が明瞭となり、北日本と東日本日本海側の降水確率が大きくなった。また、23日から24日は日本付近へ進むリッジが強まり、北日本を通過する高気圧が強まった。
- 各モデルとも、21日に北日本を通過する低気圧が発達する予想となり、おおむね揃った。24日から25日に朝鮮半島付近から北日本付近へ進む低気圧については、位置や早さにモデル間の差が見られる。
- スプレッドは比較的小さいが、期間の終わりは各特定高度線のばらつきが大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。